

問 水道事業の今後の運営について

Q1 人口減少とともに水の需要量が減少し、経営を圧迫するのではないかと考えるが、これに対しての対策はあるのか。

答 (各務水道環境課長)

国立社会保障・人口問題研究所が公表していますように、日本の人口は今後減少していきます。このため現在の水道事業は、人口減少社会の到来、節水型社会への移行や産業構造の変化などにより、水需要が減少傾向にあることから、水道料金収入は減少傾向となると考えられます。

水道事業は、料金収入をもつて経営を行う独立採算制を基本原則としながら、住民生活に身近な社会資本を整備し、必要なサービスを提供する役割を担っています。

一方、今日の水道事業は、施設の更新時期を迎えると同時に、耐震性強化によるライフライン機能の向上や、給水人口減少に伴う資産規模の適正化等が求められており、計画的に改良・更新を行う必要があるなど様々な課題を抱えています。

このような経営環境の変化に着実に対応するために、当町においても将来にわたって安定的に事業を継続するための、中長

期的な経営の基本計画である「経営戦略」及び「水道ビジョン」を策定し、これに基づく計画的で効率的な経営を行うこと、また広域連携も視野に入れて努めて参ります。

問 人道精神の一層の啓発について

Q1 人道賞の創設をしていたのだが、小さな親切運動の表彰も加えていたと思うが、町執行部の考えを伺う。

答 (各務教育課長)

教育委員会では、夢・志を持たせ生きる力の育成や地域や社会の発展に貢献できる力の育成などの方針を定め、子どもの教育に取り組んでいます。

町として、小さな親切運動のように、子どもたちの行為を表彰してはどうかというご提案ですが、この小さな親切運動は、「できる親切はみんなですよう。」

それが社会の習慣となるように」をスローガンに、温かな行為をたたえ、そのモチベーションを高めるとともに、思いやりのネットワークを広げていくことが目的とされる全国的な運動です。

現在町が行っている、八百津青少年育成町民会議での「人道賞等」の表彰事業は、小さな親切運動の趣旨と相通するものがあります。表彰対象は、「青少年の育成に奉仕し、顕著な功績

のあった青少年育成者・団体」「社会参加活動、奉仕活動に尽力している青少年」、「青少年団体の発展に貢献し、著しい成果をもたらした青少年」、「善行のあった青少年」などを讃えるものです。この表彰をきっかけにして小中学生のみならず、八百津町全体に思いやりの輪が広がればと考えます。

したがって、今後町として、人道賞は、小さな親切運動と同じ趣旨であることを伝え、多くの子どもを表彰できるように努めたいと思います。



長谷川泰幸議員

問 八百津町の公共交通について

Q1 主な概要と取り組みのスケジュールについて

答 (永田地域振興課長)

本年度、八百津町の今後の公共交通のあり方を検討するため、八百津町地域公共交通網形成計画の策定を進めてきました。この策定に当たり、3つの取り組み方針で検討しました。

①地域住民の日常的な移動やゆしみの活動を支える交通環境づく

くり。

②公共交通間の接続を考慮した利用しやすい広域的な交通網の構築。

③地域住民が公共交通を考え、主体的に関わっていく仕組みづくり。

計画の素案の特徴として、一つにコミュニティバス802の再編をあげています。東部地区では、地域運行への転換。西部地区では、ファミリーセンター前の停留所を起点として、町内の医療機関・商業施設・公共施設等を巡回し、他路線への連絡バスに繋がるようにするなどの案を打ち出しています。

YAOバスについては、利用状況により検討の必要性があると考えます。高校生の利用が主となっている、朝夕の路線を維持し、昼間の便については、名鉄八百津線の代替バスとしての位置づけの関係上、可見市・御高町と協議が必要ですが、より実情にあった方法を模索して進めていきたいと考えております。

今後、この計画素案のpapierブックコメントを実施した後、本計画を策定し、6月以降に住民説明会などを開催して、地域住民と一体となった取り組み、公共交通の再編を図って参ります。

Q1 当町の出動手当は、近隣市町村の中では低い金額に設定されている。今後の見直しや検討はされるのか。

答 (丹羽防災安全室長)

消防団は、地域住民を中心とした組織であり、防災体制の要として、地域の安全・安心の町づくりに大きな役割を担う重要な組織です。しかし、最近の社会情勢の変化、過疎化、少子高齢化、若者の流出などにより消防団員の確保が難しくなってきています。

今後は、魅力ある消防団活動を推進するためにも、団員の処遇や出動手当等の見直しは、団員確保のための方策の一つだと考えておりますので、消防団本部や消防友の会の皆様のご意見を聞きながら、検討していく課題だと考えております。

Q2 消防団員の活動実態に応じた手当の支給はできないか。

答 (丹羽防災安全室長)

近隣市町村では、活動実態に応じて、手当に格差を設けているところもありますので、検討していきたいと思っております。

問 八百津町消防団の出動手当について

